

## 本資料集作成の経緯

### 1. 目的

「反すう動物用飼料への動物由来たん白質混入防止に関するガイドライン（平成 15 年 9 月 16 日付け、農林水産省消費・安全局長通知）」に対応するための方法等の解説および質問に対する回答を取りまとめる。

### 2. 事業の経緯

平成 13 年 9 月、わが国ではじめての牛海綿状脳症（BSE）が発生し、食の安心と安全に対する消費者の関心が著しく高まっている。農林水産省では、牛肉の安全性に対する消費者の信頼性の確保と BSE 蔓延防止措置の的確な実施を目的として、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令を平成 14 年 10 月に改正するとともに、平成 14 年 6 月には牛海綿状脳症対策特別措置法を公布し、牛の肉骨粉を原料とする飼料の牛への給与禁止措置や、牛个体情報の記録等を進めている。

平成 15 年 9 月 16 日付けで通知された「反すう動物用飼料への動物由来たん白質混入防止に関するガイドライン」は、この施策の一環として策定されたもので、反すう家畜用飼料への動物性たん白質の混入を防止するために必須となる基本的な管理方法が示されている。しかし、本ガイドラインは、飼料および飼料添加物等の輸入から農家段階での給与に至る各過程での方策を包括的に定めたものであって、実際に各段階でこのガイドラインを適用する場合には、様々な疑問点等が生ずる可能性がある。

そこで、農林水産省消費・安全局衛生管理課では、飼料および飼料添加物の輸入・製造・販売業者が本ガイドラインに準拠した業務を行う上で生ずると思われる疑問などに対応するために、本ガイドラインの解説および Q&A を取りまとめた資料集を作成する必要があるとして本事業を策定した。

これを受けて、日本科学飼料協会では学識経験者および本協会会員の飼料製造会社担当者で構成した平成 15 年度有害物質混入防止適正製造指針の検討委員会・反すう動物用飼料への動物由来たん白質混入防止ガイドラインに関する検討分科会を設置し、本事業を実施することとした。

### 3. 調査の方法および検討経過

平成 15 年 12 月 25 日に開催した本委員会において解説および Q&A 集の内容等を検討し、平成 16 年 3 月 23 日に開催した委員会における検討を経て本

資料を取りまとめた。

#### 4. 委員名簿

平成 15 年度有害物質混入防止適正製造指針の検討委員会・反すう動物用飼料への動物由来たん白質混入防止ガイドラインに関する検討分科会の委員は以下に示したとおりである。

(順不同、敬称略)

石橋 晃	社団法人日本科学飼料協会 理事長
伊藤博康	日清丸紅飼料株式会社 技術・開発部長
井上 譲	全国農業協同組合連合会 飼料畜産中央研究所 研究開発部長
緒方 恵	新東亜交易株式会社 健康産業部長
岡村由紀子	コーキン化学株式会社 開発部長
川村悦春	中部飼料株式会社 取締役研究技術部門統括
田地野良文	伊藤忠飼料株式会社 飼料製造部長
徳永利一	全国酪農業協同組合連合会 購買部飼料製造課長代理
東嶋正典	昭和産業株式会社 飼料畜産部テクニカルマネージャー
中澤宗生	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構動物衛生研究所安全性研究部ズーノーシス研究室長
中島宏樹	協同飼料株式会社 配合管理室長
羽根茂雄	株式会社科学飼料研究所 品質管理室長
星野剛吏	DSM ニュートリション ジャパン株式会社 アニマル ニュートリション本部
松本光人	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所家畜生理栄養部長
山本敏昭	日本配合飼料株式会社 中央研究所長代理
渡辺和紘	日本農産工業株式会社 研究開発センター長